



（行發日五十月一月毎）
印刷所 大和印刷所
印刷人 大和印刷所
編集者 磐城之實業社
發行所 磐城之實業社
電話七一九番
郵政掛號 第三三三號
定額 一年一圓十錢
半年六錢
三個月四錢
零售 五分



關内正一論

提灯記事の人物評論では興味もなければ熱も感度もない、従つて正鶴には敵が遠いことが多分に存するが例である。されば本文の關内正一論は誤りなきかと惧れつつ、執筆し政界情景を織込んで事實を事實として書くことにする。苟くも政黨人には共通の煩悶がある、それは自己が政治に活動する資金を如何にして作るかと云ふ事であらう、昔も今も政治運動には金を必要とする其金の持へ方が公明正大なれば其政黨人は必ず没落する時が来ることだけは請合である、此點關内正一氏の政治資金は家賃を運用して産をへらしつゝ、淡泊にして然も其の出處たるや公明正大で今如何なる場合に於ても幾な噂を流布されたことは絶対にない此處に彼の政治生命の永遠性があり、將來を期待される所

以であらう、然るに是れに反して或る者の如きは常に利権と金作りを名と稱され空聞傳へられる噂が面白くなく政治的層を撥擲して生活の資源として現角の情勢を社會に盛りかき九月の選挙などにはこれが反映しなくてはならない筈である、世の中は決して衆愚ばかりではあるまい。

實務であることを借係とし金で身銭を切つて政治に奔走して居ることは此の行動を精密に調べる程同僚に價するものが多々あるのである。或る者などは實際に實行出来るものがないことを大言壯語して所謂人氣取り三百的政治屋の本領を發揮してイラガツテ居るが、關内は然らず、只實行出来る範圍内の事を一歩々々實行しこつゝとして小石を積み如き勉強振りにある、此の政治的行動、誰か同情なくして可ならんやである、今日の政治は關志離散の氣風のみではいけない、山火事の如く風の吹くにまかせ燃えるのみではだめで、大

所高山より見、是々非々の理論で實行し得られることではなればいけない此點關内氏は純真である、紳士である斷じて無理と不正をする野武士ではない。

立憲政治は代議制であるから議員ならなければ政治に參與することが出来ない、従つて政治家たるものは又選挙の度に立候補せねばならない、此の選挙なるものは調度競争と變らない、陣地を要する、戦術技術を要する、實業を要する、大義名分を要する、それらの力をすべて動員して勝敗を決する如く選挙戦に精進し、且つ對照すべき要が悉く具つて居なければ勝てないが是れが五角とすれば勝敗の分岐點は人格者で悪いことをしない人物が最後の勝利者でないければならぬのである。

關内氏には表面化した親分子分の關係はない、又造らなものの借係である、先般たる木村清治氏や諸橋久太郎氏の如きを親分と呼ぶすして恩人とし、又一面に情を掛けた後輩なども子分扱へにせぬ恩情味萬端の處があるが其親分とせぬ處に氏の人格と個性と政治的天才が窺はれる、親分に対する子分の態度は是非を論せず絶対服従でなければならぬ、此處に場合に依つてナポレオンは「眞の男子は人を憎まず」としてセントヘンナに流されても悠々と敵方の策謀と戦術力を推稱したと歴史の頁に記されてあるが氏は反對黨たりとも其人を憎まない只實際だけは避けて居る、其一例として最近某市議死亡後の家庭に對し某會社従來通りの權益を附與することに奔走見事成功して生活の一助となさしたとの美談が傳へられて居る、是れを親分子分關係にあつた者等の行動と比較して眞面を詳細に點検したならば思ひ半ばに過ぐるものがあらう、隨分にして假面者利權獲得常習者以て如何となす。

偏狹な利己主義の連中等から政黨上の變態と云ふべく不思議の反對が一部に醸成し居る事は事實であるとしても彼等の一致平和維持破壞の原因の存する處や發生の動機に一般は解して居るが、關内其人として政黨人が他黨の人と握手し大手を揮つて共同權益に參照して居ることは冷僻な態度ではないと思つて居ることだらうが合理的妥當性の無いものは致し方がない事とあきらめて居ることであらう然しこんなことは春秋の筆法を以て云はしむれば彼等こそは政黨人として乃至は社會人として自ら

至は社會人として自ら (二面へ續く)

己消滅を促進する事に専心努力してゐるかの如く見えて常識的にはどうしても解し得られない。

政黨人が反對黨の傘下に家來扱へされても自己の地盤でな... 政黨人が反對黨の傘下に家來扱へされても自己の地盤でな... 政黨人が反對黨の傘下に家來扱へされても自己の地盤でな...

小野晋平氏に訊く



東奔西走南船北馬の形容詞そのまゝの活動をつけて居る... 東奔西走南船北馬の形容詞そのまゝの活動をつけて居る... 東奔西走南船北馬の形容詞そのまゝの活動をつけて居る...

新出版界 おもこの語... 九月の縣議選に行政政友會で... 新出版界 おもこの語... 九月の縣議選に行政政友會で...

者所謂ダットサンが高級車然とかまへて居るから笑はせ... 者所謂ダットサンが高級車然とかまへて居るから笑はせ... 者所謂ダットサンが高級車然とかまへて居るから笑はせ...

大内民恵氏 擁立運動

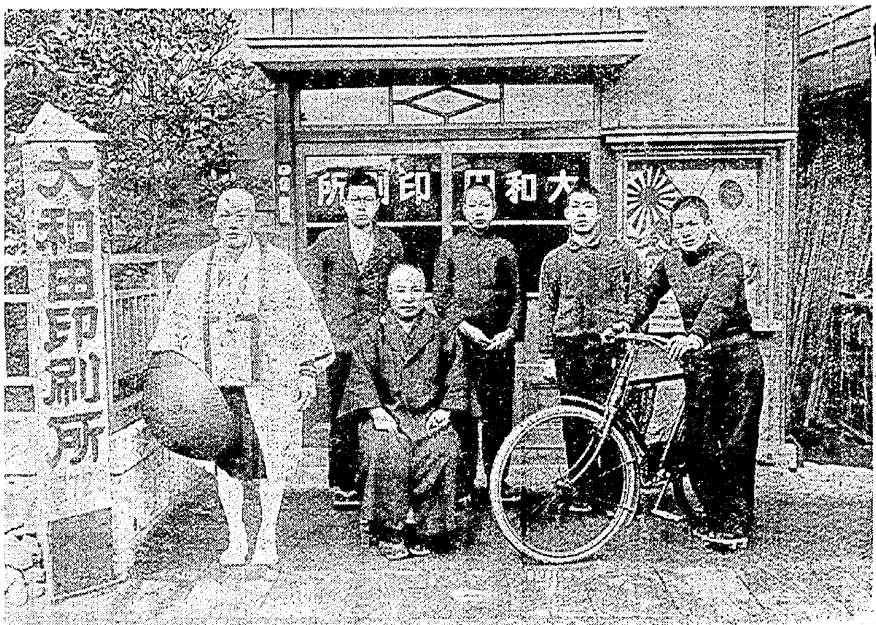
語りと化はしないか... 大内民恵氏 擁立運動... 語りと化はしないか... 大内民恵氏 擁立運動...

風聞録

比佐氏の公平... 此の程湯本町及内郷村の有志... 比佐氏の公平... 此の程湯本町及内郷村の有志...



草野氏へ獻金... 草野氏へ獻金... 草野氏へ獻金...



墓展域塋士勇歿陣征出士郷。悼追福冥の兵將諸歿戰。久長運武の士兵征出
し際に發出參奉場靈所ヶ三十三城磐め爲る祈を懷本の士勇國報忠盡
影撮念紀の前社本

斯の如く前號を以て發表したる處登原殿、磐城無毒株式會社殿を初め各方面有志より續々多大の應援あり是等の御芳名は後日を約することせり而して社友吉岡獨歩氏の奉參は隨所に現はし其の消息文左の如し。

磐城三十三靈場 奉參報告書

前略昨日第二番へ十一時過に到着致し候も世話人不在の爲奉食參拜の後午後三時三十分分出發せるも山道に迷ひて淺八十一時半湯泉神社參拜、中食の後正午過ぎ出發田場坂に

山又山を歩いて園道に出て午後五時堂裏に於て疲れたれば内町清光院に午後五時着拜宿を願申候本朝八時二十分清光院を暇九時半阿彌阿堂參拜、十時釣鐘觀音參拜、十一時續前より自動車にて湯本へ十一時半湯泉神社參拜、中食の後正午過ぎ出發田場坂に

向ふ昨日の山道の無理が祟つて歩行困難の爲め法海寺に二時半着拜宿を願休息す足痛の痛みには閉口せり。(五日)

先者要用のみ
昨午前六時十五分下川を發し玉露觀音堂に詣り馬玉觀音堂に九時半參拜、十一時四十分竹ヶ森觀音、一時十分柳澤觀音、午後三時中山觀音、四時高麗山觀音に札打ち候し候本日も足の痛み劇しく候故湯泉吉野谷鐵泉へ進り湯一泊を願みたるも乞食同様に追拂はれ止むなく暗夜とほくくと下高久さして途中より自動車に乗り七時十五分漸くし下高久は午前中書きかけの原稿を綴り午後より沼之内と下大越に順禮し下大越に拜宿の豫定に候明日十二日は平へ入るやうに相成り候により參上拜面申可候。(十四日着)

業績に輝く大發展
工藤鑄造所
夏井川に架してある平神橋のふもと平市東端の七丁目工藤鑄造所がある、時局變遷工場の大躍進を見せ、國策應に専念してゐる主人工藤誠吉氏は努力の人で鑄造界の權威者である、再製鐵の獨得の發明者と稱され業界からは多大の尊敬を拂はれてゐる、此の再製鐵を製煉する爲めには過去二十年の苦心と研究とを要し鐵工界に畫期的偉業として特筆すべきである、工作機械に鐵鑄を使用せざるものな産業國には鐵工事業が重要な役割を有して居る、其の重要性がますます加重される今日、鐵何でもこれ様の製品應用の再製鐵は鉄より優秀で一日目で三四十錢の格安にして利潤を見られると云ふべきである、更に將來の發展を期すべく約千坪の敷地に工場を新設し月産三萬圓利益一萬餘圓を計畫して推進力を見せてゐる、一意誠心努力の誠吉氏には内助の力又偉大なる貞節婦人の徳を蒙る夫人幸子さんの涙ぐましい奉仕も尋常一様でないことを知らしめる必要がある。

石城政友會新陣容
石城郡の政友派には二ツの潮流があることは、政友のそれに似てゐる、選擧度毎に殊更に目立つて色々と放送材料を提示するのが常であつた、夫れを今度名譽幹事長の小野平氏の手腕によつて解消せんとし部會長の鈴木前代議士は勇退して顧問となり古川健一氏後繼し部會長に關内、沼澤縣議を以てし、幹事長には木村守江氏らしくこの新陣容を決すべく本月下旬か來月早々緊急總會を開き總製和總努力にて秋の選擧に臨むとのことである。

平市議の特種人物の自制を望む

是非々々主義、世人は往々にしてこれを優柔不剛となす、然も反對せんがために反對する政黨者流の階級なる手段を吾人は厭視するに忍びない。眞に市を思ひ、眞に自治制を善用せんとするならば政黨派を超越し、感情を解消したる是非々々主義でなければならぬ、最も現在の平市會は政黨派は超越して居るの觀はあつたが、感情と利害を以て階級的に一派を構成して居るのもある。

花にもたとひて?

横暴と正義

○花ほどましく個性を有つて居るものはない。喜怒哀樂から神秘的な世界の物語りや横丁の路地の奥の出来事まで一々みそやかな身振りで示してくれるのも花といふ不思議な自然の中の子だ。

○國民によつて花の好みが違ふのは花が人をさうさせるのか人が花をさうするのかは、さういふ分れるだらうけれど、花の個性が人の個性の如く

明瞭なる路線選定の上布政使進んで努力を要求されしを無視出来得るや否や。

吾人は任期二年も経過した選良の候補を今更検討しなくては知り切つて居る、かゝるが故に何選定と云はず其等の候補者に對する市民の秘められたる時代的の心理が溢れて來ると見るのが安當であらう、公明を物語るかを記憶せよ。

最近は一非一業悉く私政の具に供されざるは、自治制の神聖はこれのために汚されその權威も亦彼等のために蹂躪

如に出會すと見向きもせずに行き過ぎることが出来ない。

それがだん／＼年がゆき客氣なる傾向が有り自分ながら困ることがある。

○あつた汚れた土の中から世のけがれと全く絶縁した紅の莖、根本の赤が上になるほど次第にぼかされて途中は白から、けしきばかりの縁に變り白い花の輪を重たいほどに押し寄せて居る。淋しいながらもそれで決して悲しいやうな様子もないのが、たまらなく可愛だ。

○一寸觸れても、折れまうにして居るが風にも、雨にも、割合に抵抗力が強く、眞夏の

踏まれ感傷によつて市制を左右することは海に遺物と謂はねばならぬ、我等は益々張殿明目して市會の今後の推移を監視せざるを得ない。

議員の頭目的被等は五に過去の言動を反省し、せめて今後に於て市民の依託に背かぬやう慎重なる態度を執らんことを希望する、吾人は云ふ荷くも非難あらば斷乎として之を究明すべく又意見の異なる處へも公明正大であり又市民の多数が首肯するものでなければならぬ。

○又もし櫻や、菊であつても無法な言ひがかりを敷く管はない。かれ等は此の國の先取得權を主張して反對にネロや、地主に立退きを要求するかも知れない。

○そこへゆくと、審判の花は分を知つて居り又そんな譯の分らぬ相手と争ふことの無意義なるを理解して居るから、お互に不愉快に思ふ時間を少くするために唯々として不當に對するに正當な手段を以て應ずるのだ。

○これを平市に於ける色々の問題にもたとひれば無抵抗主義であつた關内さんの勝利となるにきまつて居る正義は決して最後の敗北者ではない筈である。

○平市市民は審判と審判と何れが縁が近くなつたか、恐らく眞面目であつて横暴を思ひこ

とをしない關内さんに同情を寄せることであらう。

○市會には少数で審判の花が淋しく咲いて居るやうな關内さんの行動を讃美し且市民は極力清浄する義務があらう。

地方新聞

平小鐵道問題

片瀝瀝りと湯本經出の白紙還元がある平小鐵道問題は現代議員が議會でも海岸線工事促進に奮闘して居る事は地方新聞としては「時勢」と「新いわき」のみに報道されるに反し其他の新聞には絶対に掲載されてない一體此の鐵道は地方開發に重大性があるに拘らず「ニュース」としてすらも新聞紙として其の記事を掲げない事は頗る變なものである。報道に速報の限りを盡して關心ある地方人にこれが見識ある新聞社の態度であらうか? 都合主義の記事のみを掲げる事は場合に於ては有害有害も甚だしきことである、敢て片瀝瀝と云はず湯本と云はず公平なる實際「ニュース」は黙殺せずには報道して欲しい。

平市税と其人員

此際是非一冊お求めの上御参考にして下さい。

大和田印刷所
平市仲町
電話七二九番